

花乃井だより

学校
通信

令和3年4月9日(金)
第59号
大阪市立花乃井中学校

着任式と始業式を行いました。

昨日は始業式でした。オンラインで行われましたが、思い返せば、昨年度はコロナ禍で臨時休校だった4月(5月も)。今年はこうして無事に迎えられたことをまず喜び合いたいと思いま



《校庭の花々もほぼ満開》



す。最初に本年度の新着任の先生方の紹介と(着任式)あいさつがありました。副校長先生・教頭先生をはじめ、11名の先生が新しく着任され、8名の先生がそれぞれの学校等へ離任されました。お世話になった先生方がいらっしゃらなくなり、寂しくなりましたが、新着任の先生方との新しい出会いとなりました。また、卒業した72期生に代わって、新しく75期生が入学しました。こちらも今後どんな出会いがあるか楽しみです。

学校長の話より

新年度のスタートに当たって、皆さん「目標」は立てましたか?「目標」を明確にして、それに向かって努力していくことが大切です。まだ立てていない人は、どんなことでもいいので立ててください。

現在行われている水泳の日本選手権大会は東京オリンピックの代表選考会も兼ねています。この大会において、4日(日)、池江璃花子選手が女子100mバタフライで(8日には100m自由形でも)優勝し、東京オリンピックのメドレーリレーと400mリレーの出場権を勝ち取りました。

池江選手は2019年2月に白血病と診断された当時、「2024年のパリオリンピックを目指したい」として、「今、生きていることが奇跡。人生のターニングポイントになりました。」と語っていました。また、「神様は乗り越えられない試練は与えない。自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」と心境を語り、大変な闘病生活を続けたそうです。そして、今回見事な復帰を果たし、レース後には「自分が勝てるのは、ずっと先のことだと思っていたけど、勝つための練習もしっかりやってきた。…自分が、すごくつらくて、

しんどくても、努力は必ず報われるんだなんていうふうに思いました」とコメントしています。やはり、「オリンピック出場」という目標とそれに向けての弛まぬ努力が重要であるということを改めて感じました。退院後に練習を始めたころには体重が10kg以上も落ちていて、筋力も2年前とは比べ物にならないものだったそうです。その状況下で、オリンピックを目指しての練習は過酷を極めたと思います。しかし、池江選手は自分に負けずにやり抜いて結果を出したのです。涙のインタビューには本当に感動しました。

皆さんも、まずは1学期の目標をしっかりと立てて努力していきましょう。応援していきます。たとえ三日坊主になったとしても、その時は、またもう一度始めればいいのです。

対面式がありました。



本日6時間目に対面式を行いました。運動場にて1年生と2・3年生が向かい合って整列し、2・3年生の代表生徒から「歓迎の言葉」があり、1年生からは「お礼と抱負の言葉」を発表しました。これからの学校生活の中で、どんな出会いがあるかワクワクしますね。学校行事や部活動などでお互いに学び合って良き伝統を継承・構築していってください。

給食が始まりました。

ての給食になります。小学校の時とは勝手が違うところも多々あったと思いますが、何とかテキパキと準備できたようです。今日のメニューはカツカレーライスにフルーツ白玉。「入学祝い献立」ということで華やかで味もナイスでした。年に何回かはお祝い（ある

今日から給食も始まりました。1年生は中学校での初め



いは年中行事）にちなんだ献立が用意されていますので、楽しみにしていてください。

西船場小学校は150周年です。



花中校下の西船場小学校は今年で150周年を迎えます。おめでとうございます。大阪市立の諸学校の中で一番歴史と伝統のある学校になります。

本日は本校の西側通り沿いのフェンスにお祝いの横断幕が掲げられました。